

仕事同士の関連性の可視化

平成25年2月15日

岡山大学 工学部 情報工学科

檀上 未来

研究背景

<アジャイル開発>

- (1) ソフトウェア開発に必要な工程を反復
- (2) 顧客の要求に柔軟に対応
- (3) 少数の開発メンバによる密なコミュニケーションで情報を把握

<アジャイル開発の普及>

- (1) 大人数の開発への使用
- (2) 不慣れな開発メンバが多い
- (3) ソフトウェアツールの使用による開発規模の拡大

➡ 情報の把握が困難



自身の所属する研究グループでのソフトウェア開発を調査

アジャイル開発の問題点と対処

<問題点>

問題点1:仕事に対する認識の差が発生する

問題点2:仕事の依存に気付かない

問題点3:仕事内容が重複する

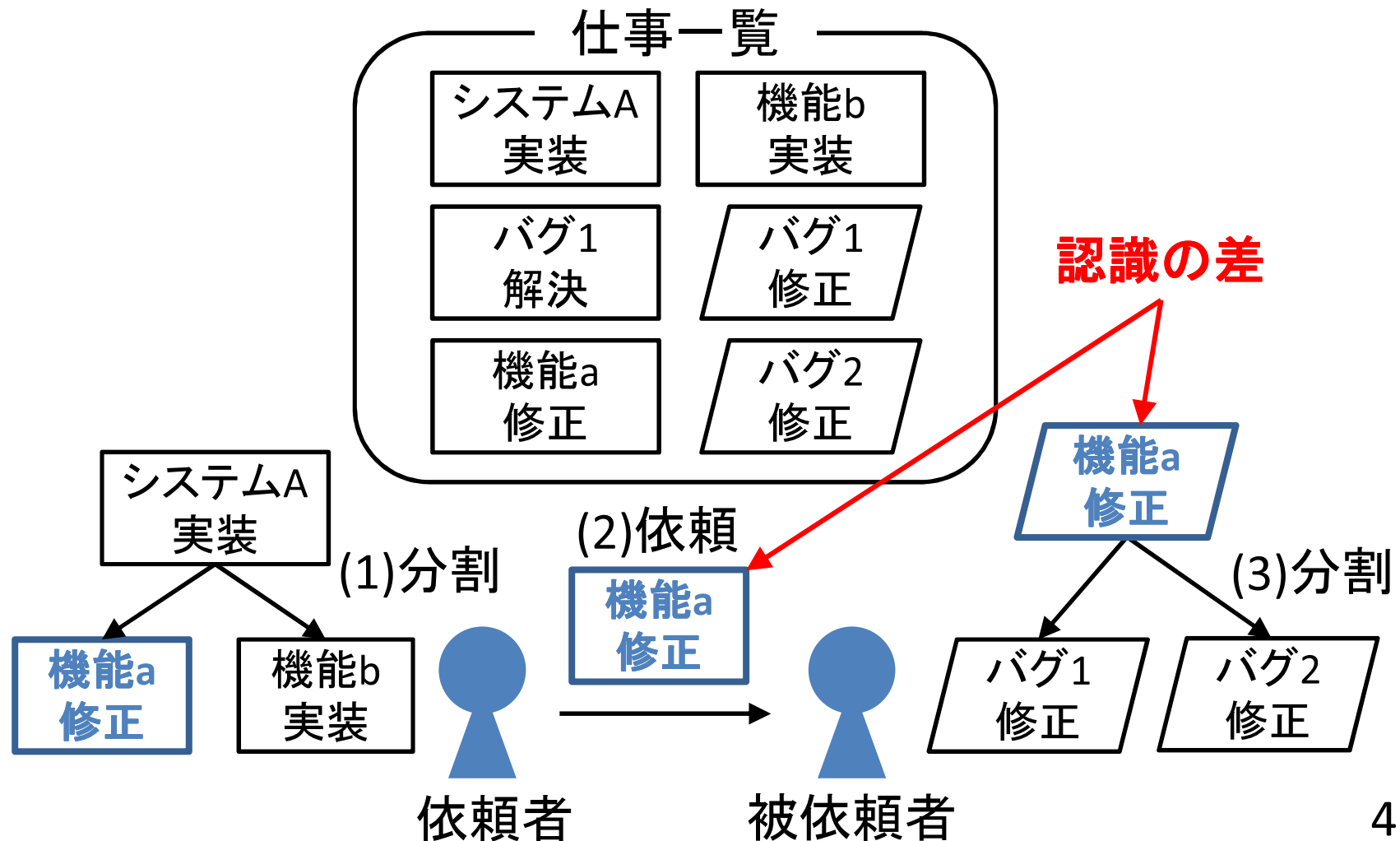
<対処>

仕事同士の関連性の可視化を実現

仕事に対する認識の差

仕事が発生した背景への理解が不足し、認識の差が発生

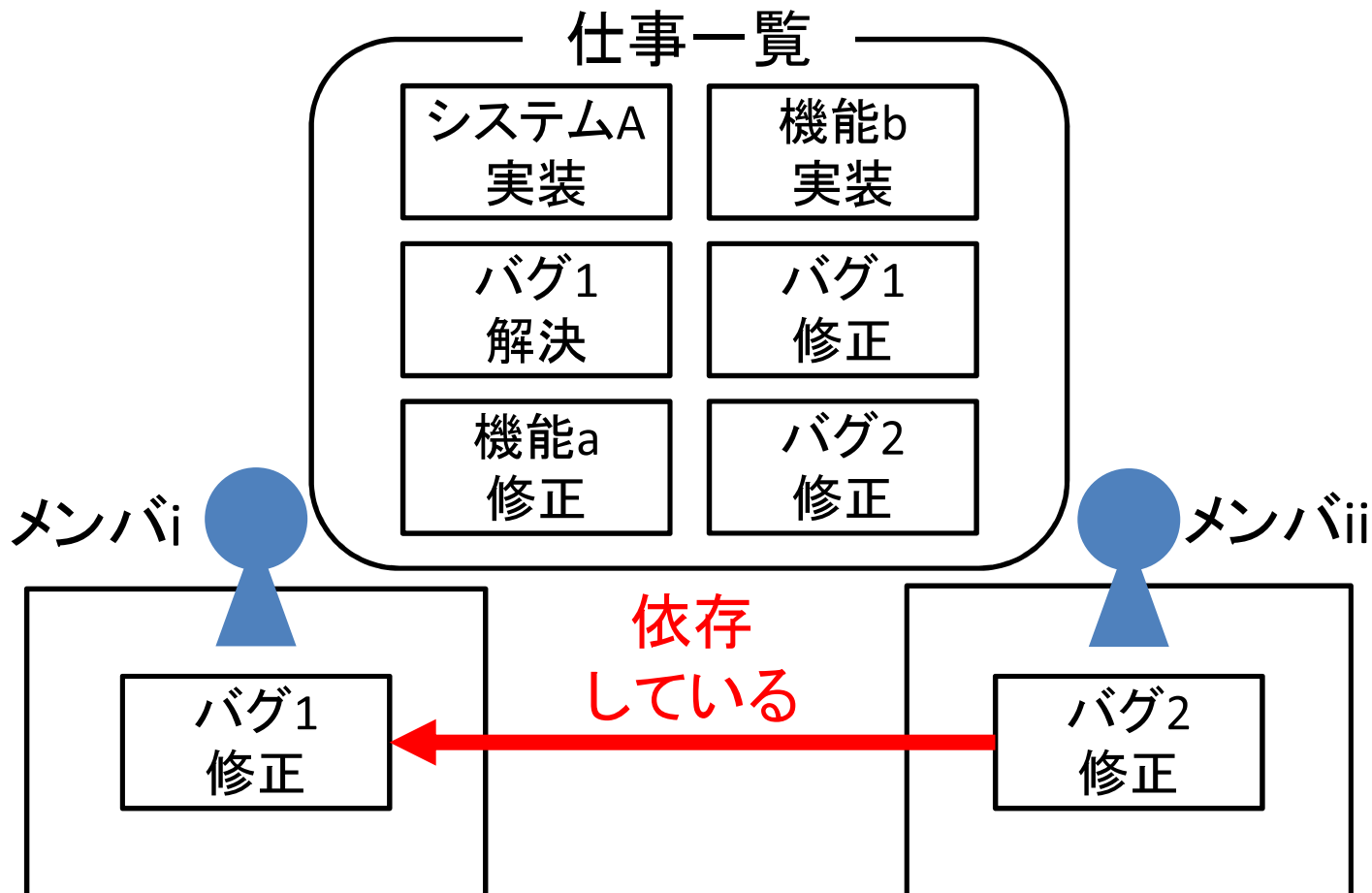
→ 被依頼者は依頼者の意図通りに仕事の処理ができない



仕事の依存

仕事の担当者が、自身の仕事に他のメンバの仕事が依存していることを把握できない

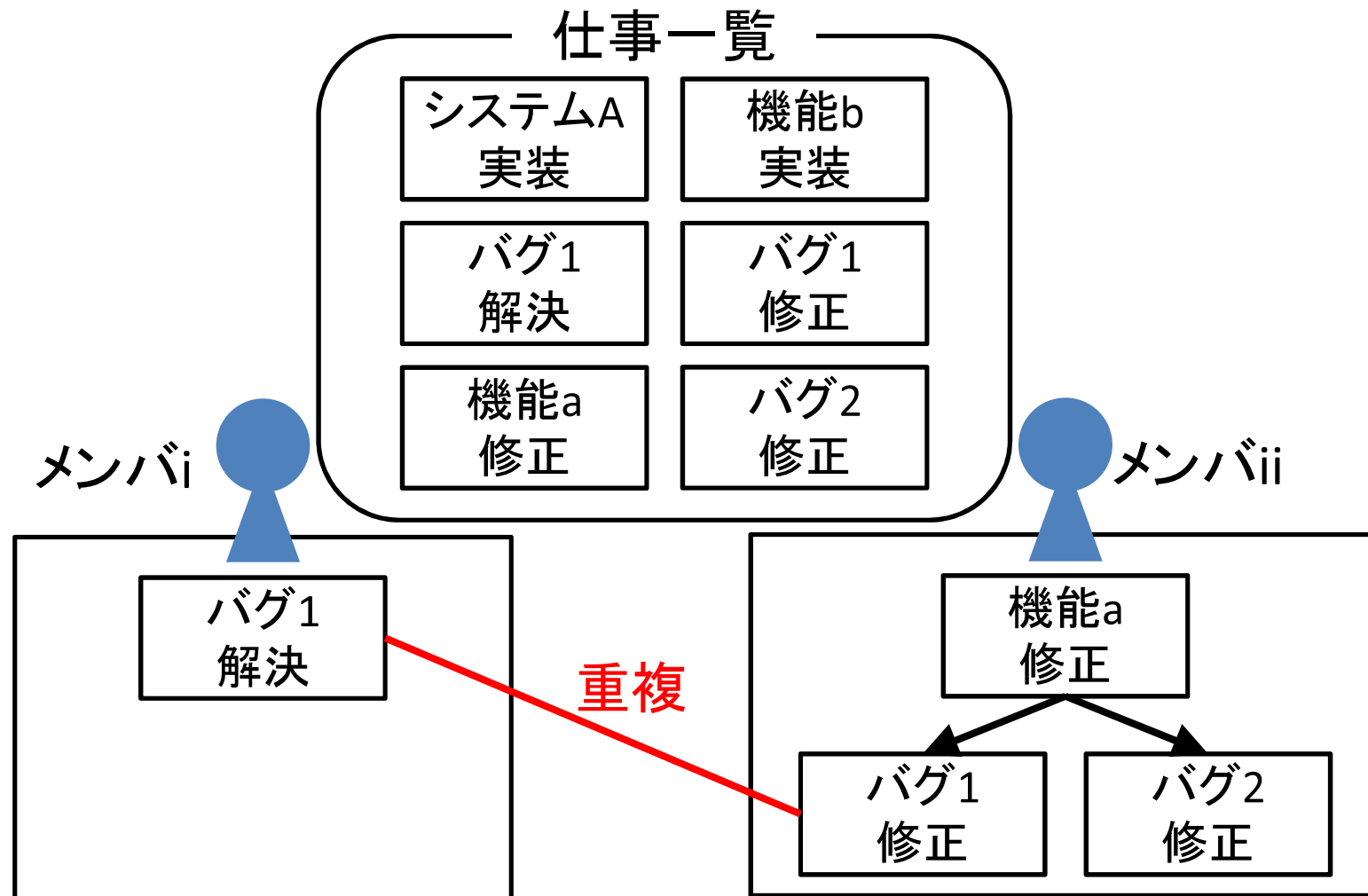
→ 開発全体の進捗が遅れる



仕事内容の重複

開発メンバー同士で仕事内容が重複する

→ 競合の修正は困難, 重複した仕事の処理は無駄



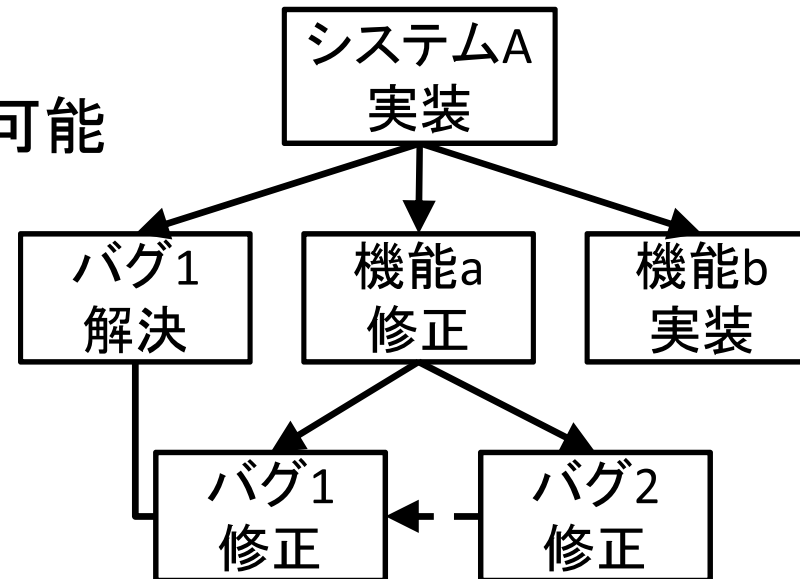
仕事同士の関連性の可視化

仕事同士の関連性の可視化で問題点に対処

仕事がつ他の仕事との関連性

<利点>

- (1) 担当外の仕事の把握が可能
- (2) 依存の把握により、開発効率が上がる
- (3) 重複した処理の発生が抑制可能



(1) 集約関係 (2) 依存関係 (3) 重複関係



ソフトウェア上での仕事同士の関連性

プロジェクト管理ソフトウェア [Redmine](#) 上で可視化を実現
Redmineでは仕事をチケットで表現する

問題, 実行工数, 関連するソートなどの情報を集約したデータ

<仕事同士の関連性>

(1) 集約関係

ある仕事から分割された仕事は, 元の仕事に集約される.
Redmine上では親チケットと子チケットで表す.

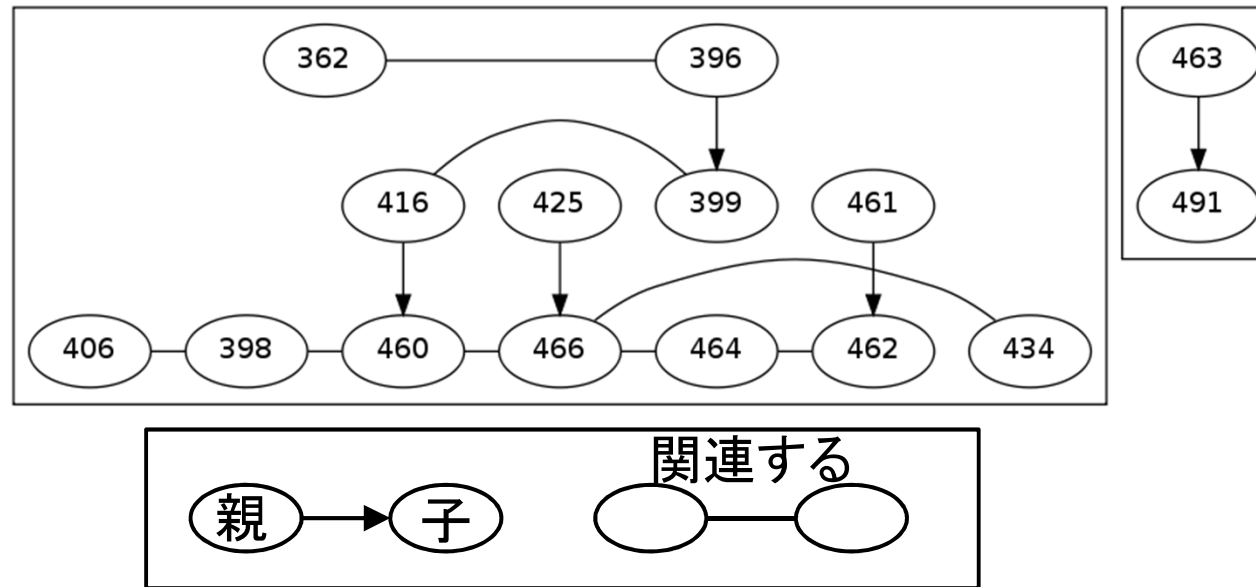
(2) 依存関係

ある仕事にとりかかるために, 別の仕事の終了が必要である.
Redmine上では関連するチケットで表す.

(3) 重複関係

2つの仕事の内容が同様である.
Redmine上では関連するチケットで表す.

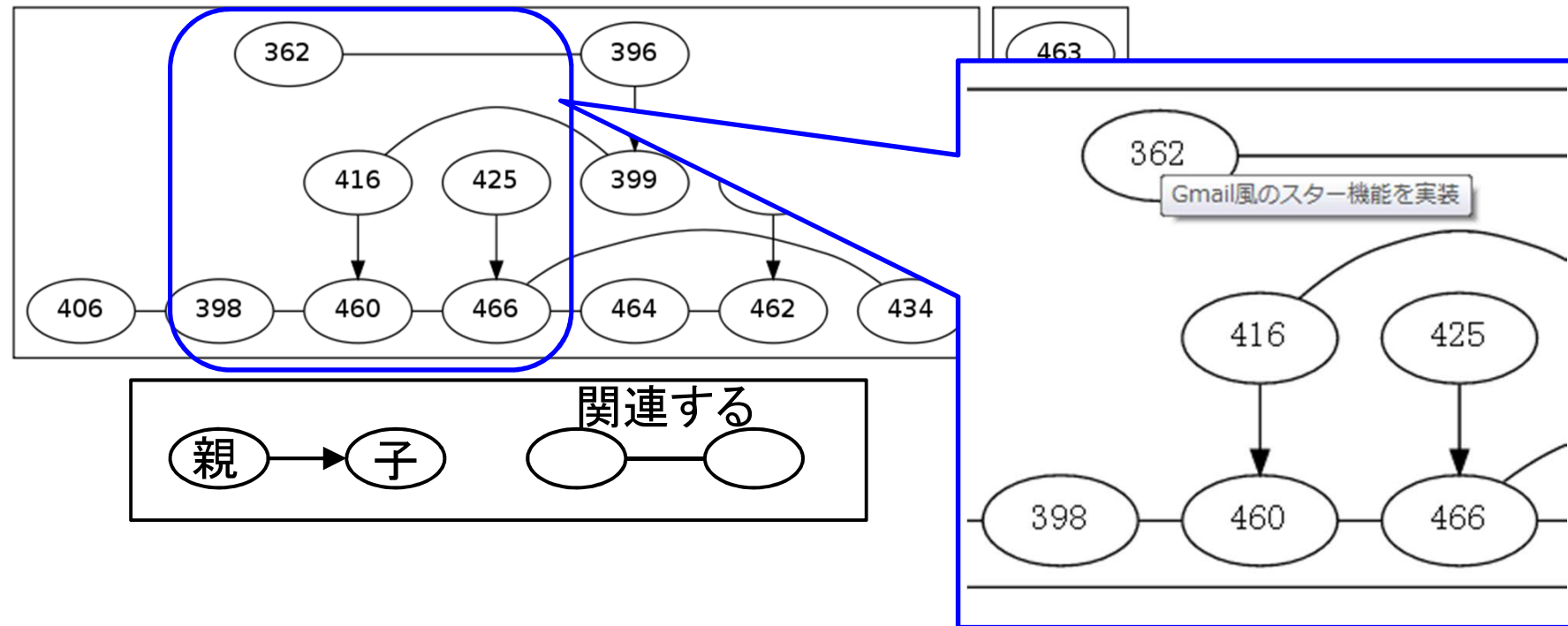
ソフトウェアにおける可視化の実現



自身の所属する研究グループで作成したチケットを可視化

- (1) 開発メンバは7人
- (2) チケット管理システムとしてRedmineを使用
- (3) アジャイル開発の手法を取り入れている

ソフトウェアにおける可視化の実現



自身の所属する研究グループで作成したチケットを可視化

- (1) 開発メンバは7人
- (2) チケット管理システムとしてRedmineを使用
- (3) アジャイル開発の手法を取り入れている

まとめ

<実績>

- (1) アジャイル開発を調査
- (2) アジャイル開発における問題点を考察
 - (A) 仕事に対する認識の差
 - (B) 仕事の依存
 - (C) 仕事内容の重複
- (3) 仕事同士の関連性を定義
 - (A) 集約関係
 - (B) 依存関係
 - (C) 重複関係
- (4) Redmineにおける仕事同士の関連性の可視化を実現

<残された課題>

仕事同士の関連性の付与の自動化とその実装

予備スライド

アジャイル開発の導入例

Japan | Area / Language  投資家・株主の皆様へ | サイ

NTT Data
変える力を、ともに生み出す。

業種別 サービス別 お客様事例 技術&レポート ニュース 採用情報 NT

ホーム > ニュース > ニュースリリース > 2012年 >

若手リーダー層を対象としたアジャイル開発研修を開始

～3年間で1,000人のアジャイル開発人材を育成～

シェア 印刷 お問い合わせ

2012年4月17日
株式会社NTTデータ
株式会社NTTデータユニバーシティ

株式会社NTTデータと株式会社NTTデータユニバーシティは、2012年5月より、NTTデータグループの主に入社3～5年目の若手リーダー層を対象としたアジャイル開発研修を開始します。

2012年のニュー

2012年4月16日
Android対応GISアプリケーション提供開始

ウォーターフォール型開発を行っていたNTTDATAが
1000人規模のアジャイル開発の研修を開始

URL<<http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2012/041700.html>>